

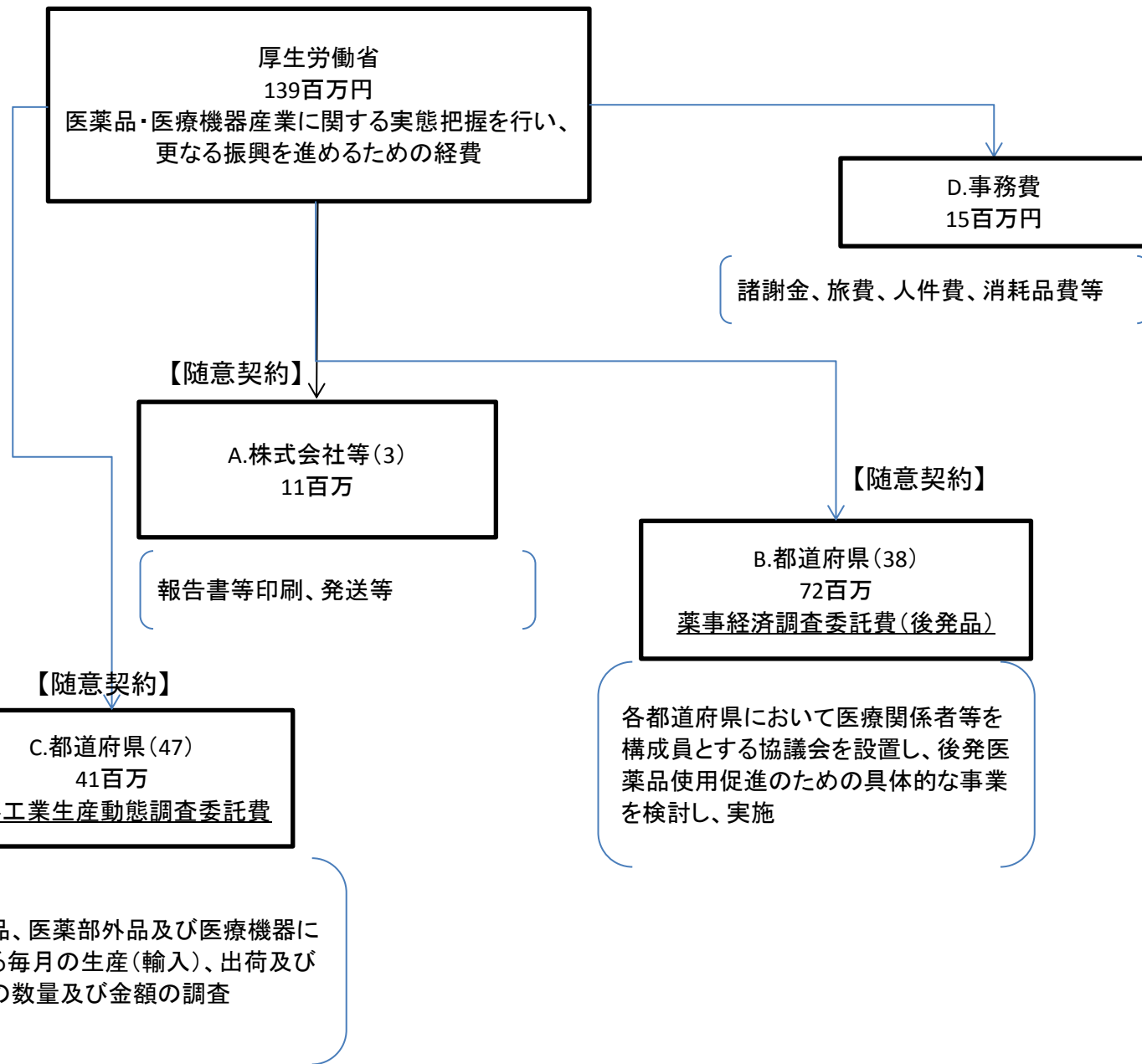
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医薬品等産業振興費	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和27年度～	担当課室	経済課	課長: 鎌田光明			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-6 新医薬品・医療機器の創出等を促進するとともに、医薬品・医療機器産業の振興を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	①厚生労働省設置法第4条第16項、厚生労働省組織令第38条第1, 2項 ②薬事工業生産動態統計調査規則、統計法、統計法施行令	関係する計画、通知等	・「医療用医薬品の流通改善について(緊急提言)」(平成19年10月10日医政発第1010001号) ・医療・介護の質向上・効率化プログラム(平成19年5月) ・「医療用医薬品へのバーコード表示の実施について」(平成18年9月15日付薬食安発第0915001号) ・「医療機器等へのバーコード表示の実施について」(平成20年3月28日医政経発第038001号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①医薬品、医療機器の公的保険制度下における不適切な取引慣行の改善を行うことにより、公正な競争を実現するとともに流通の効率化等を推進を図る。 ②統計法に基づく基幹統計調査として、医薬品、医薬部外品、衛生材料及び医療機器に関する毎月の生産(輸入)等の実態を明らかにする「薬事工業生産動態統計」を作成することを目的とする。 ③医薬品産業・医療機器産業に関する諸情報の収集・分析及び総合的な調査研究を行い、積極的に産業政策の企画立案に取り入れていく。 ④医薬品製造販売業及び卸売業並びに医療機器製造販売業及び卸売業の経営実態を把握し、医薬品産業・医療機器産業の健全な発展に必要な施策を講ずるための基礎資料を得ることを目的とする。 ⑤政府目標である「平成24年度までに後発医薬品の数量シェアを30%以上」の達成に向け、「都道府県後発医薬品安心使用促進事業」の委託、患者向けリーフレットの作成、医療関係者向けセミナーの開催等により、後発医薬品の使用促進を図る。 ⑥医薬品及び医療機器のバーコード表示を普及することにより、製造販売業者から医療機関における物流の効率化、高度化を図るとともに、医療事務の効率化、トレーサビリティの確保、医療事故の防止等を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添参照						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	125	194	218	175	191
		補正予算					
		繰越し等					
		計	125	194	218	175	191
		執行額	125	129	139		
	執行率(%)	100.0%	66.5%	63.8%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	医薬品・医療機器産業実態調査の実施回数	成果実績		1	1	1	1
		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	医薬品・医療機器産業実態調査の回答率	活動実績 (当初見込み)		78	75	75	—
				80	80	80	80
単位当たりコスト	-	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1.8	1.8	後発医薬品に関する評価等検討事業の追加			
	職員旅費	3.1	3.1				
	委員等旅費	1.3	1.3				
	庁費	9.0	9.0				
	医薬品審査等業務庁費	34.2	50.7				
	薬事経済調査委託費	86.1	86.1				
	薬事工業生産動態統計調査委託費	39.1	39.1				
計	175	191					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>医薬品・医療機器産業実態調査に係る予算要求については、不用額が増大することがないように近年の調査対象客対数に基づいた要求を行っており、今後も引き続き、研究開発状況等の医薬品産業界及び医療機器産業界の動向を把握し、健全な発展に必要な施策を講ずるための基礎資料を得るため、調査の効率化、精度向上に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業については平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性は認められるところであるが、予算と執行の乖離に留意し、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>不用が生じた理由を分析し、引き続き効率的な執行に努める。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

A.大和綜合印刷株			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	統計調査様式作成、リーフレット作成	5			
計		5	計		0
B.福岡県			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	推進事業に係る役務・雑費等	9			
印刷製本費	パンフレット等印刷	2			
謝金	講師謝金	1			
その他	会議費等	1			
計		13	計		0
C.東京都			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
通信運搬費	推進事業に係る通信運搬費	2			
消耗品費	推進事業に係る消耗品費	0			
調査員手当	薬事経済調査に係る調査員手当	1			
賃金	薬事経済調査に係る賃金	2			
計		5	計		0
D.事務費			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	セミナー講師謝金	1			
職員旅費	セミナー出席旅費、外国旅費	3			
庁費	消耗品費、図書購入費、印刷製本など	11			
計		15	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	薬事工業生産動態統計調査票等様式作成、リーフレット印刷	5	随意契約	
2	統計印刷工業(株)	統計調査報告書印刷	4	随意契約	
3	協新流通デベロッパー(株)	調査月報の梱包・発送	2	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	後発医薬品使用対策促進	13	随意契約	
2	長崎県	後発医薬品使用対策促進	6	随意契約	
3	兵庫県	後発医薬品使用対策促進	5	随意契約	
4	茨城県	後発医薬品使用対策促進	4	随意契約	
5	岡山県	後発医薬品使用対策促進	3	随意契約	
6	神奈川県	後発医薬品使用対策促進	2	随意契約	
7	栃木県	後発医薬品使用対策促進	2	随意契約	
8	宮崎県	後発医薬品使用対策促進	2	随意契約	
9	大分県	後発医薬品使用対策促進	2	随意契約	
10	北海道	後発医薬品使用対策促進	2	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	薬事工業生産動態調査の実施	5	随意契約	-
2	大阪府	薬事工業生産動態調査の実施	3	随意契約	-
3	埼玉県	薬事工業生産動態調査の実施	2	随意契約	-
4	千葉県	薬事工業生産動態調査の実施	2	随意契約	-
5	神奈川県	薬事工業生産動態調査の実施	2	随意契約	-
6	兵庫県	薬事工業生産動態調査の実施	2	随意契約	-
7	静岡県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	-
8	愛知県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	-
9	茨城県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	-
10	富山県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	-

【事業概要】

<p>事業概要</p>	<p>①不適切な取引慣行を改善するために、懇談会を開催し検討を行うとともに、医薬品卸売業者が出席する全国地区会議に出席し流通改善に向けた取組状況の把握・指導等を行うことにより、流通の適正化を図る。 ②「薬事工業生産動態統計」を作成するにあたっての都道府県事務委託費、年報・月報冊子の印刷配布用経費、調査用資材の印刷・購入経費。(システムにかかる経費を除く) ③「医薬品産業実態調査報告書」及び「医療機器産業実態調査報告書」を作成するにあたって、調査票・報告書の印刷用経費、調査対象に対する調査票の発送用経費、報告書作成のための集計用経費。 ④後発医薬品使用促進のため、一般国民向けリーフレットの作成配布及び医療関係者向けのセミナーの開催等を行う。 ⑤各都道府県において、医療関係者等を構成員とする協議会を設置し、国民・医療関係者が安心して後発医薬品を使用できるよう、地域の実情に応じた使用促進のための具体的な事業を検討し、実施する。 ⑥医薬品及び医療機器のコード化に向けた取組は、厚生労働省通知に基づき業界の協力を得ながら推進しているところであり、取組の進捗状況を把握することにより、表示状況を踏まえた普及促進を図る。</p>
-------------	---